



2021年4月15日
第671号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替0960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka (EWA)
発行人 増田 俊道
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

京都西山短大ストライキ闘争!

京都西山短大法人との団体交渉の経過は、2月15日発行の669号で報告しました。その後、2月24日の団体交渉においても、支部組合員2人の「雇止め通知書」を撤回する姿勢を見せなかったため、3月17日にストライキ闘争に突入しました。



櫻井理事長の責任を追及

櫻井理事長は、組合支部・本部からの再三の要求にもかかわらず団体交渉に一度も姿を現すことがありませんでした。また、雇い止め解雇の合理的な理由を説明できないままに、団体交渉継続中にもか

かわらず「雇止め通知書」を組合の頭越しに組合員2人に手渡し、さらに釈明する場として設定したその後の団体交渉にも出席しないなど、不誠実な態度を繰り返しました。組合はやむを得ず、櫻井理事長が参加する予定であった短大の卒業式の直後、短大の校門前でのストライキ闘争を実施することになったのです。

60人に及ぶ支援者の団結

おおさかユニオンネットワークの春闘総行動の一環に位置付けていたこともあり、教育合同組合員のみならず、様々な友誼組合の組合員も駆けつけ、約70人で支援行動を行うことができました。学長に民族差別的な発言を受けたとして短大に訴えたにもかかわらず受け入れられることがなく退学に追い込まれた中国人留学生5人も、ストライキ支援に駆けつきました。不

当な雇止め解雇に泣き寝入りすることなく、果敢に法人の不正に立ち向かう組合員の発言に、多くの卒業生や教職員も聞き入っていました。



逃げる櫻井理事長と学科長

支援者からのアピールを受けている間に、執行委員長と当該組合員とで、「雇い止め解雇通知撤回」の要求書を櫻井理事長に手交しに校内に入りました。しかし、前日まで卒業式に参加する予定だった理事長はなぜか欠席しており、事務局長に対して、すぐに連絡を取るよう要求しました。30分ほど経過したころようやく連絡がつけましたが、全く自身の責任を理解しない発言に始終しました。次善の策として、学長・事務局長・学

科長のいわゆる3役が、校門前のストライキ支援行動参加者の前で理事長不在の状況説明と謝罪をすることを確約させ、要求書は代理で学長に手交するが、誠実に対応することを認めさせました。その後、3役のうち学科長が校内に姿を消し、また10分程度待たされることになり、最終的に、要求書の手交が終わったのは、予定を50分もオーバーした時刻となりました。組合は組合員を狙い撃ちした解雇雇い止めに対して徹底的に闘います。

増田俊道(執行委員長)

臨時職員雇用継続闘争 府教委の責任を問う



3月24日講師雇用継続団交が、春闘総行動の一環として午後4時から府教委別館前で行われました。この前の3月3日の講師雇用継続団交の場

では講師の任用に関しては「管理運営事項」として回答を拒否してきたことを受け、雇用責任は府教委にあると強く抗議する集会となりました。最初に大阪、堺、豊中、南河内、高校の各支部から現在の雇用状況についての報告があり、その後、先日解雇撤回のストライキを行った西山短期大学の当該組合員からのアピールを受

けました。2015年の最高裁判決、2019年の中労委和解勧告に従い、臨時職員の雇用の団体交渉に誠実に応じるようとの「要求書」を府教委の担当者に別館前玄関で手交しました。この後、全員で府教委に対してシュプレヒコールを行って今回の行動を終えました。

山口昌孝(執行委員)

2021年度 新執行部体制

- 執行委員長 増田俊道(高校支部)
- 副執行委員長 高田晴美(門真守口支部)
- 書記長 酒井さとえ(高校支部)
- 書記次長 五十里元子(南河内支部)
- 執行委員 柴野裕次(本部)
- 村上淳一(ウイズ支部)
- 山口昌孝(大阪支部)
- 田邊岸代(大阪支部)
- 大石小百合(堺支部)
- 岡本洋之(睦学園支部)
- 会計監査委員 平野良男(大阪支部)
- 横山仁美(南河内支部)
- 田中浩昭(高校支部)



岸和田支援学校パワハラ裁判 大阪府の事実認定丸呑み不当判決

岸和田支援学校に勤務していた非常勤看護師の組合員たちがパワハラ被害を受けたうえで解雇止めとなったことへの地位確認と慰謝料の請求を申し立てた裁判の判決が、3月29日、大阪地裁においてありました。裁判はその準備も含め4年近くかかりましたが、判決はたった数分、原告の訴えを地位確認については却下、その他の訴えは全面棄却しました。

「最悪の判決」としか言えない

解雇止めについては、

大阪地裁 「官は悪をなさず」と甘い姿勢が浮き彫りに

組合員たちを任用しろという行政命令を求めましたが、却下となりました。今までの判例から、「非正規」公務員の雇用に関する行政命令は厳しいであろうという予測はありました。しかし、組合員らが解雇されるまでの間に学校側が行った看護業務の取り上げ、ベルマークの切り取り作業などの指示が、事実認定も明確でないなか、同僚職員へのパワハラ加害者の対抗措置とされたことの慰謝料請求に



についても、組合員らの訴えを全面却下するものとなり、「これ以上悪い判決はない」と弁護団も驚愕する内容でした。

裁判所は行政と一体なのか

判決で示されたパワハラに関する事実認定は、すべて大阪府が出した証拠、主張に沿ったものが採用されており、組合員らがパワハラ加害を行ったのだという結論ありきで書かれた判決でした。ハラスメントを訴えた他の裁判とくらべ、あまりにも原告側の訴えを無視するものでした。行政事件において裁判所は行政の側につくのが一般的ではあるものの、このような判決を許すわけにはいきません。控訴することとしました。

酒井さとえ（書記長）

文化おちこち ウイルス ふもやま話

(235)

【(3) RNAワクチン】

筆者が住む豊中市でも、3月の末に「ワクチン接種券」と接種可能な医療機関（開業医中心）のリストが送付されました。5月から予約を始め、それまでには「集団接種」の会場もできます。接種を受けるのは、ファイザー社（米）がビオンテック社（独）と共同開発した「RNAワクチン」で、これに続くモデルナ社（米）もRNAワクチンです。ワクチンについては、2018年ノーベル医学・生理学賞を受賞した免疫学の権威である本庶佑京大名誉教授でさえ「東京五輪までに『ワクチン』はできない〈ノーベル賞学者からの『警告』〉」（文藝春秋 2020年8月号）としています。それが、WHOがパンデミック宣言をした2020年3月11日から10ヶ月後の同年12月11日に米FDAはファイザーのワクチンの緊急使用を許可し、2021年4月9日現在でワクチンを接種完了した人数は6,500万人に上り、米国人人口の約20%がワ

クチン接種を終えたことになり

ます。上の本庶氏のワクチン開発に関するコメントの背景には、ウイルスを大量に製造することを要する「生ワクチン」や「不活化ワクチン」の開発には数年単位の時間がかかること、また「RNAワクチン」についてはRNAが汗や唾液に含まれる「RNA分解酵素（RNase）」によって分解される不安定な物資という認識があります。しかし、逆に「RNAを安定化する技術」が開発できれば、後者の問題はなくなり、前者の問題もRNAを化学合成するので短時間でワクチンの原体を製造できます。

また、4万人を対象とした治験では95%というこれまでにない高い効果、及び既に接種を受けた6,500万人もの人で重篤な「副作用」がないことから、このRNAワクチンの摂取を受けないという選択肢はありません。おまけに最近出てきた「変異株」にも即座に対応可能です。最近の大阪での感染爆発の状況から、ワクチン接種までにコロナに感染しないでいられるかが、最大の問題です。

(新選組21)

当面の日程

- 4月22日（木）10時 大阪府労働委員会
近畿大学事件（定年問題）山下顧問反対尋問
- 4月23日（木）19時半 国労会館第2小会議室
高校教科書「公共」学習会 増田委員長報告
- 5月1日（土）13時30分～
第92回中之島メーデー
- 大会修正案締切 5月9日（金）17時
- 5月3日（月）14時 扇町公園
輝け憲法！平和といのちと人権を！大阪総がかり集会
- 5月19日（水）15時 エルおおさか大会議室（予定）
「広域一元化条例」反対集会
- 5月22日（土）14時～
第33回定期大会

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、労働組合にとって重要なメーデーと定期大会が開催されます。

いずれも感染状況によって開催条件の変更が考えられますが、定期大会については昨年度と同様にオンラインと委任状を活用しながらの成立を目指します。組合員のみなさんは必ずそのどちらかでの参加をお願いいたします。詳細については、次号のニュース発送時にお知らせします。

※新型コロナウイルスの影響により多くの集会が中止・延期されています。最新の情報を各自で、ご確認ください。



コロナ禍で迎える2度目の春▼この間学校で変わったこと▼多くの行事がなくなったこと▼多くの行事がなくなったこと▼多くの行事がなくなったこと

たこと▼いやにオンラインの有効性が強調されるようになったこと▼休校期間中に考え続けた学校があるべき形についての議論は結局置き去りになったまま